

JSICR / KU

## **Doubling of Reality** **Everyday Lives in Post-Mobile Society**

*Virtual Symposium 2020*

期間：10月2日～16日

場所：web 会議 URL: <http://secondoffline.com/> Realtime session: URL to be announced

主催；モバイルコミュニケーション研究会（JSICR、関西大学研究拠点形成支援経費研究グループ）・情報通信学会関西センター

要旨：スマートフォンなどの移動体通信の普及により、人々は日常生活において常にネット上のオンライン情報を参照するようになった。本シンポジウムでは、このような現象をセカンドオフラインと呼ぶ。iPhone の発売を契機にフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が始まった。人々はスマートフォンを使って、簡単にインターネットにアクセスすることができるようになった。さらに、Facebook, Twitter, WhatsApp, LINE, Instagram などのソーシャルメディアが大衆化し、多くの人びとが日常生活（リアル／オフライン）において常にネット上の情報（バーチャル／オンライン）を参照するようになったのである。ポケモン GO を可能にしたモバイル AR 技術の登場は、セカンドオフラインの姿を明確にしてくれた。

セカンドオフライン社会では、人々の時間と場所の感覚にも変化が生まれている。私たちは「同じ時間にふたつの場所に存在する」ことはできない。しかし、それを電子メディアが可能にした。メディアが異なる二つの場所を重ねることを可能にしたのである。Paddy Scannell (1996) は放送メディアに注目しこのような現象を Doubling of Place と呼んだ。さらに、Shaun Moores (2012) は、インターネットやスマートフォンにおいても同種の現象が出現しているとし、Doubling of Place の概念を再評価した。ただ、二重化しているのは「場所」だけではない。「時間」も二重化している。本シンポジウムでは、それを Doubling of Time と呼びたい。エミー賞を受賞した iPhone のテレビ CM 『Misunderstood』(2013) や新海誠のアニメ映画『君の名は』(2006)、米国映画『The Lake House』(2006) では「時間の二重化」現象が描かれ人気を集めた。そこでは、「場所の二重化」が一種の理想として描かれている。「時間と場所の二重化」は、すでに現代社会の様々な場面に出現している。本シンポジウムでは、セカンドオフライン、Doubling of Time / Place という分析枠組みを設定し議論を行う。

セカンドオフラインという状態に発生する Doubling of Time / Place についての研究は日本ではまだ少ないが、海外では増えつつある。このシンポジウムでは以下の5名の研究者を招待する。その研究者は Adriana de Souza e Silva、Nanna Verhoeff、Ingo Schulz-Schaeffer、Eric Lettkemann、安田登氏である。Silva は mobile communication 研究をリードする研究者であり、Hybrid Reality、Net locality、Hybrid Play という概念で同種の現象を説明しよう

としている。彼女には基調講演を依頼している。Verhorff は移動性の土台である物質性について論じている。彼女は、都市空間のスクリーンというキーワードを掲げながら、主体の視覚的経験と操作実践が時空間の社会的あり方を変容させつつあることについて論じている。Schaeffer and Lettkemann (2020 印刷中) は、ベルリンと東京でのエスノグラフィーやインタビュー調査にもとづき、Locative Media 利用によって生み出される公的都市空間の新しい配置関係について研究している。彼らの研究プロジェクトの焦点は、Foursquare、Tabelog、Ingress などの Locative Media アプリが都市の日常生活における公的空間の占有をどのように補強または修正するかにある。能楽師の安田登(下掛宝生流能楽師)は能や六義園と AR の関係について注目し、能ワークショップや寺子屋「遊学塾」を主宰し、舞台だけでなく、対談や講演を行うなど、いまこの分野で最も注目されている。本シンポジウムではこの 5 名を招待し議論を深めたい。

ここでの議論がこの分野の今後の研究の発展に寄与することを期待したい。

#### Reference

- Lettkemann, Eric, and Ingo Schulz-Schaeffer, 2020, The appropriation of public places through locative media: A pilot study on Foursquare City Guide/Swarm, Technical University, Technology Studies, Working Papers, TUTS-WP-1-2020
- Lettkemann, Eric, and Ingo Schulz-Schaeffer, in press, Annotating places: A critical assessment of two hypotheses on how locative media transform urban public space. In: Haid, Christian, Angela Million, Ignacio Ulloa, and Nina Baur (eds.), Spatial Transformation: The Effect of Mediatization, Mobility, and Social Dislocation on the Re-Figuration of Space. London: Routledge.
- Moore, Shaun, 2012, Media, Place, & Mobility, New York, NY: Palgrave Macmillan.
- Scannell, Paddy, 1996, Radio, Television and Modern Life: A Phenomenological Approach, Oxford: Blackwell.
- Silva, Adriana de Souza e, Ragan Glover-Rijkse, 2020, (eds.) Hybrid Play: Crossing boundaries in game design, player identities and play spaces, Routledge.
- Silva, Adriana de Souza e, 2011, Net Locality: Why location matters in a networked world, Wiley-Blackwell.
- Silva, Adriana de Souza e, 2009, Digital Cityscapes: Merging digital and urban playspaces, Peter Lang Inc., International Academic Publishers.
- Tomita, Hidenori, 2016, (ed.) The Post-mobile society: From the Smart/Mobile to Second Offline, Routledge.
- Verhoeff, Nanna, 2012, Mobile Screens: The Visual Regime of Navigation, Amsterdam Univ Pr.
- Verhoeff, N., Merx, S., de Lange, M., 2019, (eds.) Urban Interfaces: Media, Art, and Performance in Public Spaces. Special Issue for Leonardo Electronic Almanac (MIT Press) 22, 4 (March 15). Open Access: <https://www.leoalmanac.org/urban-interfaces>

※本シンポジウムは 2019-2020 年度関西大学研究拠点形成支援経費(研究課題: モバイルメディア社会と「セカンドオフライン」現象に関する社会学研究、研究代表者: 富田英典)の助成を受けて実施する。  
※本シンポジウムは情報通信学会 2020 年度関西大会として開催する。

## 全体プログラム

9月15日 告知開始・ウェブサイト・トップページの公開

9月22日 一般参加者の登録スタート

9月30日 招聘研究者講演映像公開

(基調講演)

Adriana de Souza e Silva(North Carolina State University, USA)

(パネラー講演)

Nanna Verhoeff (Universiteit Utrecht, Netherlands)

Ingo Schulz Schaeffer (Technische Universität Berlin, Germany)

Eric Lettkenmann (Technische Universität Berlin, Germany)

安田登 (下掛宝生流能楽師)

10月2日 第1回オンライン・リアルタイム・セッション

時間：22:00-24:00(Japan) 15:00-17:00(Europe) 9:00-11:00(NY/NC)

・趣旨説明 (富田英典：関西大学教授)

・登壇者紹介

・ディスカッション

司会：岡田朋之 (関西大学教授)

パネラー：Adriana de Souza e Silva(North Carolina State University, USA)

Nanna Verhoeff (Universiteit Utrecht, Netherlands)

Ingo Schulz Schaeffer (Technische Universität Berlin, Germany)

Eric Lettkenmann (Technische Universität Berlin, Germany)

安田登 (下掛宝生流能楽師)

10月3日～6日 BBS (電子掲示板) での討論

10月9日 第2回オンライン・リアルタイム・セッション

時間：22:00-24:00(Japan) 15:00-17:00(Europe) 9:00-11:00(NY/NC)

・ディスカッション

司会：松田美佐 (中央大学教授)

パネラー：Adriana de Souza e Silva(North Carolina State University, USA)

Nanna Verhoeff (Universiteit Utrecht, Netherlands)

Ingo Schulz Schaeffer (Technische Universität Berlin, Germany)

Eric Lettkenmann (Technische Universität Berlin, Germany)

安田登 (下掛宝生流能楽師)

モデレーター：松下慶太（関西大学教授） 金暲和（神田外語大学准教授）  
伊藤耕太（関西大学非常勤講師・マーケティングプランナー）

10月11日～13日 BBS（電子掲示板）での討論

10月16日 第3回オンライン・リアタイム・セッション

時間：21:00-23:00(Japan) 14:00-16:00(Europe) 8:00-10:00(NY/NC)

- ・全体司会：藤本憲一（武庫川女子大学教授）
- ・総括討論 Adriana de Souza e Silva(North Carolina State University, USA)  
富田英典（関西大学教授）
- ・全体ディスカッション  
パネラー：Adriana de Souza e Silva(North Carolina State University, USA)  
Nanna Verhoeff (Universiteit Utrecht, Netherlands)  
Ingo Schulz Schaeffer (Technische Universität Berlin, Germany)  
Eric Lettkenmann (Technische Universität Berlin, Germany)  
富田英典（関西大学教授）
- モデレーター：松下慶太（関西大学教授） 金暲和（神田外語大学准教授）  
伊藤耕太（関西大学非常勤講師・マーケティングプランナー）
- ・閉会挨拶：岡田朋之（関西大学教授）